

は明治四十一年某文學士（特に秘す）の翻譯發行で、歐米戀の真相（ツル・ラブ）と題する袖珍洋綴本である。大正六年の春、向陵社の後身たる世界秘密珍本刊行會から出版されたのは此復刻で、只だ裝幀が、菊半截オレンジ色クロス表、茄子紺色青草天金と云ふ稍々本としての體裁を保ち得るものにしたのみで、確か一冊の頒布費が壹圓五拾錢だつたと思ふ。その後、この紙型を買ひとつて再版とし背を黒皮に改めて密賣したのが下谷にゐた鈴木一夫と云ふ先生で、この艶本一冊で成金になつたと云ふ話である。又、原書は極めて容易な文字のみを使用してあつたせい、原文その儘の複製本もどし／＼密賣され、當時の學生間に於て本書を知らざるものは恥とすらされると云ふ流行を見せたものだ。大正七年となるや、きわもの屋青春堂から、四六版で續ツル・ラブと云ふ與太ものを出した位で、恰も漱石の「我輩は猫である」が、三四郎の「それからの猫」と云ふ續きものが出たと同じ形式のものであつたところが、大正十二年の大震災が帝都を襲つて、從來、米びつ替りに秘藏してゐた此等もぐりの出版屋の紙型が、どれも皆一様に灰燼に歸した。そのた

め震災後一時、ツル・ラブの新本が市中に品切れとなつたが、十四年遂に又、本書は、四六茄子紺總革裝幀の本文四六三頁と云ふ半贅澤本、その名もベラ・アモ（美しい戀）と云ふラテン語に變へられ、東都は神田の名物辯護士白井哲太郎氏に依つて出版された。先日、西神田警察の艶書征伐事件に、此のベラ・アモの殘部が悉く押収されたとかと噂に聞かしてゐるが、まだ詳細に亙ることは知らない。

原書は三巻ものであるが、譯書は何れも一冊もので、原書は十七章に、譯書は皆十五章で終つてゐる。と云つて別に抄譯してある譯でもない。一九〇八年閏月拾日氣附と云ふ譯本の序に依れば、著者ジョン・スミス（John Smith）こそは、ボツカツチヨやモオバツサンにも優る天才で、宇宙開闢以來の偉大なる藝術家乃至は素晴らしいエボツク・メイカーださうである。

勿論純然たる艶本で、文獻的にも何等價值なき劣情挑發主義以外の何物でもない。多數の大學生と妓女とが一堂に會して行樂を恣まふにし、且つ各自の色情經驗談を語り

合ふと云ふプログラムで章別にすると左の如くである。

(第一卷) 快々なる學生達に依つて物語られた其最初の實驗談

(第一章) 發端——第二章) ブラウンの小夜衣——(第三章) ニード・スタンレーの内氣者——

(第四章) パーтонаの假裝舞踏會——(第五章) キートン談——無上の樂園——(第六章) シヤンペンとキツス

(第二卷) (第六章) (第六章) は第五章の續談——(第七章) リバアスの談——黄金の甲板——

(第八章) スチュイベサンの談——秣積の中——(第九章) リチアードの談——解剖的説明——

(第十章) ランキンの談——寢臺の下——(第十一章) パーカレイの談——無邪氣な男——(第十二章) 背後の攻撃——

(第三卷) (第十三章) ウイロウの談——不思議な珍客——(第十四章) イダの談——女の陥る道

——(第十五章) ヴイツクの談——斯道の面白さ——(第十六章) 會長の談——刺く酔つた——(第十七章) 結論——こんなところで助辨して貰ひたい。

### バルカン・クリイゲ (戦争勃發)

本書は、興味本意のものとしては世界に於ける近代隨一の艶書だと云はれてゐる。一九二七年一〇月トルコ原本から四百部の限定で獨譯出版され、日本人として最初に獨逸から入手したのは僕である。“Vulkanische Krieger, von Dr. Wilhelm Meier.” Bei Beginnenden, Georg Müller, Privatdruck.) 著者ウイヘルム・マイテル博士とあれど、勿論まゆつばものと見做していい。第一卷第二卷の合本ものであるが、これは最初から二卷を以つて終篇となる豫定のもとに戯作されたものでない。原本たるトルコの寫本が素晴しく人氣を呼んだので、おだてられる儘に、著者が無理に續篇をこちつけたものだ。第一卷は扉を見ると、「戦ひ始まりし時」と書かれ、更に小さく下に「戦争に依る道德の破滅」と割書されてある。バルカン戦争が開始されて、國中の健康なる男子と云ふ男子が出征し、あとに取殘された女ばかりの留守宅に、好色一代男が出現して、上流貴賓と云はず中流、プロレタリ

アとを問はず手當り次第に、廻る物語を扱つたもので、中には親娘女中と云ふ一家五人の名流家庭に現れた其男が、彼女等全部を置いて、彼等五名に裸體踊り、扱ては母親を娘が、娘が女中と、飛んだるやら、張形、猿、犬、ありとあらゆる道具を持ち出され、強姦殺人等のサデスムスの極致から女同士のおナニスト、情熱の結晶、カンニリングスにフェラオ等々——鬼のゐない洗濯にソーダを使ひ盡したと云ふ騒動奇譚で第二巻は、その扉にも「戦争に伝る惨虐と淫逸」とある如く、凡ゆる色情的惨忍性を以つて描かれた作者快心のサデスムスの世界である。

### 蚤の自叙傳

(Les Invenirs d'une Puce 蚤の自叙傳)

本書の三分の一は嘗て吾々の雑誌「カーマ・シヤストラ」に數回に亘つて連載したことがある。一部の読者には非常な歡迎を受けたが、章を追う毎に益々熱情を極め、それ以外の何等價值なきものと認めためたので中絶して了つたと云ふ過去をもつてゐる。目下牛込の文藝資料研究會で該書の邦譯の豫約募集中であるが、内容見本に艶文を満載し、賣らんかな主義を發揮してゐるのが不愉快だ。譯者佐藤紅霞大先生の日本の淫本式に翻案化した、スウハア文章だからこの方面の小學生には、もつてこいの珍書であらう。その内容見本に依ると、興味の點、文學上の價値に於て、共にファンニー・ヒルなんて問題にならぬほどの藝術的なものであるそうだが、僕自身に限らず世界の文學者に、この兩者を對讀させたら恐らく義經と向ふづねほどの差があると答へるだらう。文學書と純然たる淫書と同一視されては迷惑の感なきあたはずで、いくら賣りたいにもせよ、あんな下手な識者に直ぐと見

へ透かされるやうな廣告文は、文獻を冒瀆するの甚だしいものだ。殊に佐藤紅霞君の如き一ばしの珍書通であり乍ら、あんなアクどい宣傳をさせて黙してゐるとは眞面目な學究徒として許されない態度だと思ふ。あれほどにアクどい宣傳をせずとも五百部位の限定版なら讀者がつくものと考へられる。この點、同君の將來に對して一苦言を呈し置く次第である。

本書の内容はベラーと云ふ一少女が、アンブロースその他の僧侶達のために、淫慾の犠牲となる物語が主體となるテーマで、この少女ベラーの身邊に飛びついて放れない一匹の蚤が、彼女の行動を仔細に視察する目撃談で、不自然な彼等の淫行が其十夜目に於て餘りに極端に走るので、流石の蚤先生も驚きのあまり氣絶すると云ふところでチョンとなつてゐる。

本書の一番整澤だと云ふ原書は、(Le Souvenir d'une Puce) 即ち(蚤の追想)と題しアムステルダムとパリとより出版された英佛愛書私的陳列館の發行になるものである。第

一卷ベラーの物語は彫り版六枚入裝飾、表題紙上一行(英人の艶書)とあり、末尾には(愛書會版)となつてゐる。第二卷ジュリヤの物語も彫り版六枚入裝飾、共に一二ポ、一五四頁、無字一葉、パン・ゲルデルの地方のオランダ風純手漉紙。私的出版四〇〇部限定總麻本。現下の相場にして一八〇〇マルク。

挿畫も裝飾もなく、本文紙普通印刷紙を用ひた假綴の安本が、最近フランスで亂製され日本へも大分輸入されてゐるとのことだ。又、アメリカのヒラデルヒヤから發行された六箇の挿畫入り私的出版もある。佐藤君の内容見本にある同書の扉にある通りのものだ。即ち(The Autobiography of A Flea told in a Hop, Skip and jump)とある。これは一九一〇年版で挿畫もなにもない安本の方だが、六枚の秘書入本は一八九〇年版のものである。何れ此の全譯は前記佐藤君に依つて近日出版される筈になつてゐるとか、或は既に發行済だとか云ふ話だがまだ其處迄は調べてゐない。序で乍ら其入會嚴則とかを見ると、本會々員及び其會員の紹介以外には絶対に入會を許さないとか、豫め絶対秘密嚴守云々な

どの喧ましい規則が定められてある。次に五圓の實價に二十六錢の送料費の前納を強要してゐる。之は一寸穩當ではないと思ふ。前納を強要するからには當然、豫約出版法に屬し警視廳へ金一千圓也の保證金を積まねば許されないことになつてゐる。先年吾社で一回これに觸れて馬鹿を見た經驗をもつてゐる。今、同會が正式のもとに保證金を積んでの豫約であるや否やは暫らく措き、全額を支拂ふ資力なきかたは金三圓以上の内金を拂込め云々とあるに依つて、希望者は一時に全納せずとも済む譯である。何れにせよ、勇敢な點は推賞に價する。

#### オデットとマルティヌ — (附 蕩兒の冒險)

オデットとマルティヌ (Odette et Martine) はアンリー・ソルデイユの著、佛のソシイテイ・ド・エロテカ・ビビリオンの發行が最初で、最近色んなところから異本が澤山流布されてゐる。一名「同性愛秘話」とも云はれ、オデットと云ふ十四歳の少女とマルティヌ

と呼ぶ十二歳の少女とが不自然な性愛秘蔵に耽る物語を描いたもので、文學的に無價値なものだが、不良少女としての二人のサイコロジが如何にも自然に叙述されてゐる。昨年八月下旬、本書の譯本を牛込の上森健一郎君が出版した。青山俊文二の翻譯？だが、先生ちよいと少女雜誌に原稿を書いてゐる丈に、少女の物語る會話が、如何にも垢ぬけがしてゐる。此譯本には附録として蕩兒の冒險 (Adventure of the Rake) と云ふ艶書の章文もついてゐる。今、この二書を青山君の譯文からひろつて見ると、

#### オデットとマルティヌ

第一章(打ち明け話)——第二章(小さな愛撫)——第三章(戀の初夜)——第四章(青少娘御用)——第五章(涙に濡れて)——第六章(小鳥の自由)——第七章(戀の弄絡)

#### 蕩兒の冒險

第一話(發端)——第二話(最初の快味)——第三話(女神への捧げ)——第四話(哀しき別離)——第五話(禁慾生活)——第六話(市民の妻)——第七話(唄う雲雀)——第八話(復

活)——第九話(悔悞と新しき抱擁)——第十話(小間使の物語)——第十一話(續小間使の物語)——第十二話(法律よりの逃避)——第十三話(銀行家の娘)——第十四話(他の曖昧女)——第十五話(邂逅)——第十六話(新しき生活へ)——第十七話(再會)——第十八話(團圓)

戀愛技巧百態又は戀の百面相

原名、五角形  
(Das Fünfeck)

原名はダス・フュンフェツク、即ち五角形と云ひ、但し書きに *Kino Geschichte in der auf alle Arten verliert wird* とあり、即ち戀の百面相とでも云はうか。

目下、牛込の上森健一郎君の所で募集中のペラ棒に高い會費の豫約書の原書である。内容見本に依れば、原書も原名も發行所も明記してないが、ダス・フュンフェツクに相違ない。原書は四六版赤色背布緑色ラシヤ紙装頓、一五三頁ザラ紙印刷の安本でマルクにして四マルク、邦價にして僅々二圓の本である。番號入り五百部の限定としてあれど、日本へ

輸入された書には一部として番號が入られてない。文藝資料研究会編集部で邦譯印刷中のものも、この番號抜きの安本であらう。一九二四年レスボスの出版とあれど、實は一九二七年アムステルダムの獨佛英愛書協會の發行で、オリチナル二十部は七枚の秘書入り、モロツコの總皮製と云ふ贅澤本で、これは同人間のみが頒けたもので絶対に入手困難のものだ。普通の安本には五百部の限定とあれど、その實三千部も印刷されたと云ふことが、近刊のゲオルク・ミュレル社發行の圖書案内の埋草に出てゐた。

目次を見ると、

第一章(エリクとラヲウル)エリク、エリカ——第二章(エリカとエリナ)——第三章(ラヲウルとエリク)——第四章(りんの玉と胸のいさかひ)——第五章(辻君シリ)——第六章(ラヲウルの茶店にて)——第七章(エリクとエリナ)——第八章(シリ)の別離)——  
後信

で、同性愛、レスボス風の戀愛、性的倒錯、婦人同性愛、サデスムス、マソヒスムス等を

取材にしたもので、昨年滿州で此の邦譯がパンフレットになつて友人間に頒布されたこと云ふことを聞いてゐるが、まだお目にかゝつてはゐない。

扱て、上森君よ。この安本の翻譯書を拾貳圓五拾錢で賣るとはどう考へても儲けすぎるぞ内容だつて餘り猛烈ではなし、それに、豫告の装幀通りのものとすれば、上質にしる、コワトン紙にしる安物だし、別に總皮の表紙をつけるわけでもなし、どう考へても三百部で一部の實費二圓位のところだ。思ひきつて素晴らしい贅澤本にしてくれ頼む。一度位は豪華版をつくつてもいゝだらう。此方面の艶書を今後とも出版する意志があるなら、豫め出版書についての相談對手になつてもいゝ。その代り素晴らしい文獻を、素晴らしい装幀にして出して欲しいものだ。健闘を祈つて置く。尤も、今、募集中のダス・フュンフェツクも、今は昔、原書を二十七圓五十錢で賣つてゐた某書店があるげな。二圓足らずの本一冊で二十五圓五十錢も儲かるなら悪くないネ。

### 老人若返法

目下募集中のホヤ／＼たるアラビヤの奇書「老人若返法」の内容見本を手にした。可なり良心的な出版方法のもとに募集された宮本良の企劃だが惜しいことには、本書に對する文獻も内容目次も掲げられてゐない。この見本作成に生命を注いだ部分は、本文中の内容一節で、勢くとも發見の役人様に云はせると稷文だと断定するところの勞情披露以外のなものでもない一節に置かれてあるやうだ。僕は、當にこの艶文の一節を入れないと頒布部数に達しない現代人の無責任を不愉快に思つてゐる。で、そんなことは別として、此の「老人若返法」に就いて、一言附記して置く必要に迫られたやうな気がする。本書に關しては、雜誌「奇書」に於て、佐藤紅霞君も、譯者の序文が何か一寸邦譯したやうであつたが、幸ひ原書及び文獻が手許にあるので、内容目次その他一般に亘つて簡単に説いて見たい。

本書は、前述の「匂へる園」と共にアラビヤが世界に誇り得る二大奇書の一つである。

「匂へる園」よりも數世紀先きに生れた性愛に關する醫學書で、科學文明の發達してゐる今日よりみても、尙ほ幾多の驚嘆に値すべき文獻が盛られてゐる。原著者に就いては今もつて不明とされてゐるが、本書の出現は十三世紀頃であることだけは確實に證明されてゐる。

現在アラビヤ語の寫本は倫敦、巴里、ライデン及びゴータの圖書館等に秘藏されてゐるが、不思議なことには、此の醫學的文獻の全譯活字本は、今吾々の所有するチャールズ・カーリントン版の英譯以外に、何處の國語にも譯出されてゐないことである。只その幾部分づゝが盜まれて、色んな醫學者の博士論文に現れたのみである。

併し、全譯とまでは行かなくとも、抄譯、梗概などの寫本が以前より各國語に譯出されてゐる。例へば英譯の寫本が、バリ・ビプリオテーク・ナシヨナルのエム・ル・パン・ド・スラン編纂の「アラビヤ語目録」(三〇六〇號)に於て、この「老人若返法」の大略が譯出されてある。

それに依るとアーマド・イブン・ソレマンが原著者となつてゐるが、これは原著に依つて寫本を複製した人の署名で、彼が原著者だと云ふ譯ではないのだ。又、土耳其帝セリム一世のために土耳其語に此れを翻譯したイブン・カマール・バシヤの寫本もある。今、小生の所有する「老人若返法」はこの土耳其譯の英譯である。

その他、ヨロツバに現存の部分的な譯文では、一八八三年ブラツセルにて「逸樂の書」と稱する秘藥與義書が出版されたが、これなどは代表的なものであらう。

原著者に就いては色んな異説を生んでゐる。例へば巴里の寫本に依ると、シヤムス・アド・デイン・アブウル・バラカト・モハマツド・アトテイファシとなつて居り、カイロのケイ・デイヴィアル圖書館の寫本を見ると、その著者の名は、シヤラフ・アド・デイン・アブウル・アバス・アーマツド・イブン・ユウスフ・アトテイファシとなつてゐる。併し、これらの文獻を一々精讀して見ると、アーマツド・イブン・ユウスフ・アシユ・シヤリフと云ふのが原著者ではないかと思はれる點が多い。僕は、この説を主張して置く。現にムハマツド・サイ



ツド・ウト・クビブ・ヴ・ムハマツト・サデツク・ウールのベルシヤ譯を見ても、アーマツド・イブン・ユウスフ・アシユ・シヤリフと云ふのが原著者だと極言し、その譯文も原本通りに二部に分け、その各々は三十章よりなつてゐる。これが「老人若返法」の定本となつてゐるらしい。で、今、この定本？ と、イブン・カマール・バシヤの土耳其譯の英譯本とを参照し、次へ目次を譯出して見やう。

### 目次

#### 第一部 譯者の序文

- (一) 本書の年代及び著作
- (二) アラビヤの醫術
- (三) 男子の
- (四) 陰萎の種々相

#### 一(附)生殖力、勃起力の種々

#### 第二部 出版者の言葉

#### 老人若返り法

#### 第一卷 概観

- 第一章 男根の構造に就いて
- 第二章 睪丸の構造に就いて
- 第三章 房事過度より來る疾病に就いて
- 第四章 房事過度の悪影響を及ぼす症狀に就いて
- 第五章 攝取すべき食物
- 第六章 の利益
- 第七章 時期の適、不適

- 第八章 催淫藥調製に就いて心得可き注意
- 第九章 強精劑たる藥用植物及び其他の藥物に就いて
- 第十章 強精劑に就いて
- 第十一章 同様の効果ある油脂に就いて
- 第十二章 その目的に要する軟膏に就いて
- 第十三章 その目的に要する繃帶及び束縛に就いて
- 第十四章 　　を旺盛ならしめる摩擦藥に就いて
- 第十五章 精力増進の煉藥
- 第十六章 その目的に對する藥効
- 第十七章 發情昂進の注入藥
- 第十八章 その目的に要する坐藥
- 第十九章 種々なる煉藥に就いて

- 第二十章 　　を増進させ、男子を強壯ならしめる香料
- 第二十一章 　　を増進さす香氣に就いて
- 第二十二章 食物の配合
- 第二十三章 　　を減殺するもの
- 第二十四章 男根の伸長、肥大に就いて
- 第二十五章 　　しめる藥劑の製法
- 第二十六章 懷妊劑に就いて
- 第二十七章 避妊劑に關する注意
- 第二十八章 　　の種々
- 第二十九章 　　増進の咒文
- 第三十章 情事と性慾に於ける人さまざまの嗜好及び特色の詳説
- 第三部 (筆者註。ハルシヤ譯には附録となつてゐる)

- (一) 生殖本能に對する物語  
 (二) 媚藥の沿革、性質、使用法  
 以上。

今、巴里フォールブル・モンマルトル、一三のチャールズ・カーリントン版一八九八年を  
 見ると、

「老人若返法」一名「精力の返り咲き」、(アラビヤ語逐字譯)英語「放縱應譯」と  
 ある。

即ち

The old man young again or Age—Rejuvenescence in the Power of concupiscent  
 nce Literally translated from the Arabic: by An English "Polhemian" Kitab.

Kujja as-Shoykhila Sabah Fi-l-kuwat ala-l-Bah" with translators foreword, Numerous  
 Important Notes illustrating the Text, and Excursus on the History, Nature and

Uses of Aphrodisiacs. (附録、譯者序文、重要豊富なる本文の註釋、及び媚藥の沿革、性  
 質、使用法の解説) Paris Charles Carrington, 13, Faubourg Montmartre, 13 M. D. CC  
 C. XCVIII.

尙ほ、表題と目次との間に、次の一文を挿んでゐる。譯出すると

故「サー・リチアード・エフ・バートンの追憶に本書を獻ぐ。其業績の示唆と其努力の助け  
 に依り此英譯書は成れり。該書果して現代に如何なる解釋を受け様と、始めて其著作に接  
 したる時代の人々には、何等淫猥なるものとは考へられざりき。」とある。英譯本と云へど  
 本文中にアラビヤ語、ラテン語、フランス語等が隨所に混入されてゐる。序文九十四頁(第  
 一部)本文八十九頁(第二部)附録七十五頁(第三部)

扱て、本書の邦譯が山田喜久松君の努力に依つて、近日、赤阪の國際文化研究會から宮本良君が  
 出版して呉れる筈になつてゐるが、何でも組版中警視廳がかぎつけて若干出現を遅延させたとか聞  
 く。養も味増も共に猥褻と見做す警察官にも困りものだがそれが法律とあれば仕方もあるまい。

その他、かう云ふ風に書き出して行つたら、あと五六十冊も控へてゐて、限りがないから、解題は次回に譲つて書名のみを列擧して置くに止めたい。もう既に與へられた紙数を超過してゐる。

マツベ即ち書集ものについても詳細に亙る説明をしたいが、今回はあはせて勘辨して貰ひたい。

右の目録は大抵一昨年（昭和四年一月十二日現在までの輸入書である）の春から昭和四年一月十二日現在までの輸入書である。

(A) 畫集 (最も代表的なもののみ)

- (1) Einundzwanzig Exlibris von Franz Bayros. (バイロス畫、蔵書表、二十一枚も  
C)  
(2) F. Bayros-Im garten der Aphdite. 18 Bildgaben. (バイロス畫、アフロデット  
の園にて、挿畫十八枚もの)

- (3) Felician Kope(フェリシアン、ロッパス畫集(十二枚)併て吾社で直輸入し、諸氏  
に頒布して罰金を頂戴す)  
(4) Choisy le coin-Erzählung am Toiletentische. (シヨアジル・コアン畫、一化粧  
臺の物語)  
(5) Bayros-Bilder zu Fanny Hill. 6 Bildgaben. (バイロス畫、ジョン・クレランド  
のために書いたファンニー・ヒルの挿繪六枚もの)

(B) 好色的文獻書類

- (1) Wangen F. I-Das Ueppige Weib. Erotischen Typologie. Illust. (ワンゲン著  
猥な女、挿畫入り)  
(2) Scherr-Weib Dame Dirine Illust. (シエラー著、女、淑女、淫賣婦、挿畫入り)  
(3) R. Birlinger-Das Grasmee Weib. Illust.(ブルリンゲル著、慘虐の女、挿畫入り)

- (4) Ed. Fuhs-Frau in der Karikatur. (エドアルド・フックス著、漫畫に現れたる婦人)
- (5) Ed. Fuhs-Weiries. Illust. (エドアルド・フックス著、世界戦争、挿書入り)
- (6) Ed. Fuhs-Sitten-gesch. Illust. 6 Bde. (エドアルド・フックス著、風俗史、全六卷挿書入り)
- (7) Ed. Fuhs-Das Erotische Element in der Karikatur. Illust. (フックス著、漫畫に現れたる色情的要素、挿書入り)
- (8) Ed. Fuhs Geschichte der Erotischen Kunst 3 Bde. Illust. (エドアルド・フックス編纂、好色藝術史、全三卷)
- (9) Paul, Englische-Geschichte der Erotischen Literatur. Illust. (パウル・イングリッシュ著、好色文學史、挿書入り)
- (10) Das Schamlose Volklied. (赤裸々な民話)

- (11) Kurt Moreck-Kultur und Sittengeschichte der Neuesten Zeit. 2Bde. (クルト・モレック著、最近の文化史と風俗史、全二卷、挿書入り)
- (12) H. Lewandowski-Sexualproblem in der modern literatur. Illust. (レワンドフスキー著、近代文學に於ける性慾問題、挿書入り)
- (13) Hans Licht-Beitrage zur Antiken Erotik. P.D. Illust. (ハンス・リヒト著、古代好色物の文献、挿書入り)
- (14) Hans, Licht-Sittengeschichte Griechenlands. 3Bde. Illust. (ハンス・リヒト著、希臘風俗史、全三卷、挿書入り)
- (15) A. Moll-Handbuch der Sexu-wissenschaften. 2Bde. Illust. (アルベルト・モル著、性慾學、全二卷、挿書入り)
- (16) Ploss-Bartels-Das Weib. 3Bde. Illust. (プロス・バルテルス著、女、全三卷別冊索引付き、挿書入り)

- (17) R. Schmidt-Das Kamasoutrum, des Vatsyayana. (ミニット著、カーマ・スト  
ム)
- (18) Dr. Erik Hoyer-Das Lüsterte Weib, sexualpsychologie der begehren ten unbel-  
ridigten und schamlo en frau. (エリク・ホイエル博士著、助平女、無恥で不満の女  
の性慾心理)
- (19) Bilder-Lexikon der Erotik Illust. 3Bände mit ca. 3000 Mini (好色百科全書、  
挿書三千箇入り)
- (20) Sittengeschichte der Kulturwelt und ihrer Entwicklung. 4Bde. (文化世界史と  
其發展、全四卷)
- (A) Sittengeschichte von Paris. Illust. (E)里の風俗史、挿書入り)
- (B) Sittengeschichte des Proletariats. Illust. (プロレタリアの風俗史、挿書入り)
- (C) Sittengeschichte der Liebkosung und Strafe. Illust. (愛撫と刑罰の歴史、挿書  
入り)

入り)

- (D) Sittenge-schichte des Intimen. Illust. (戀愛風俗史、挿書入り)
- (21) Wulfen, Sexualspiegel (ウルフイン著、性の鏡)
- (22) The Torn Book, (一名、閨房辭典)

(C) 小説、物語

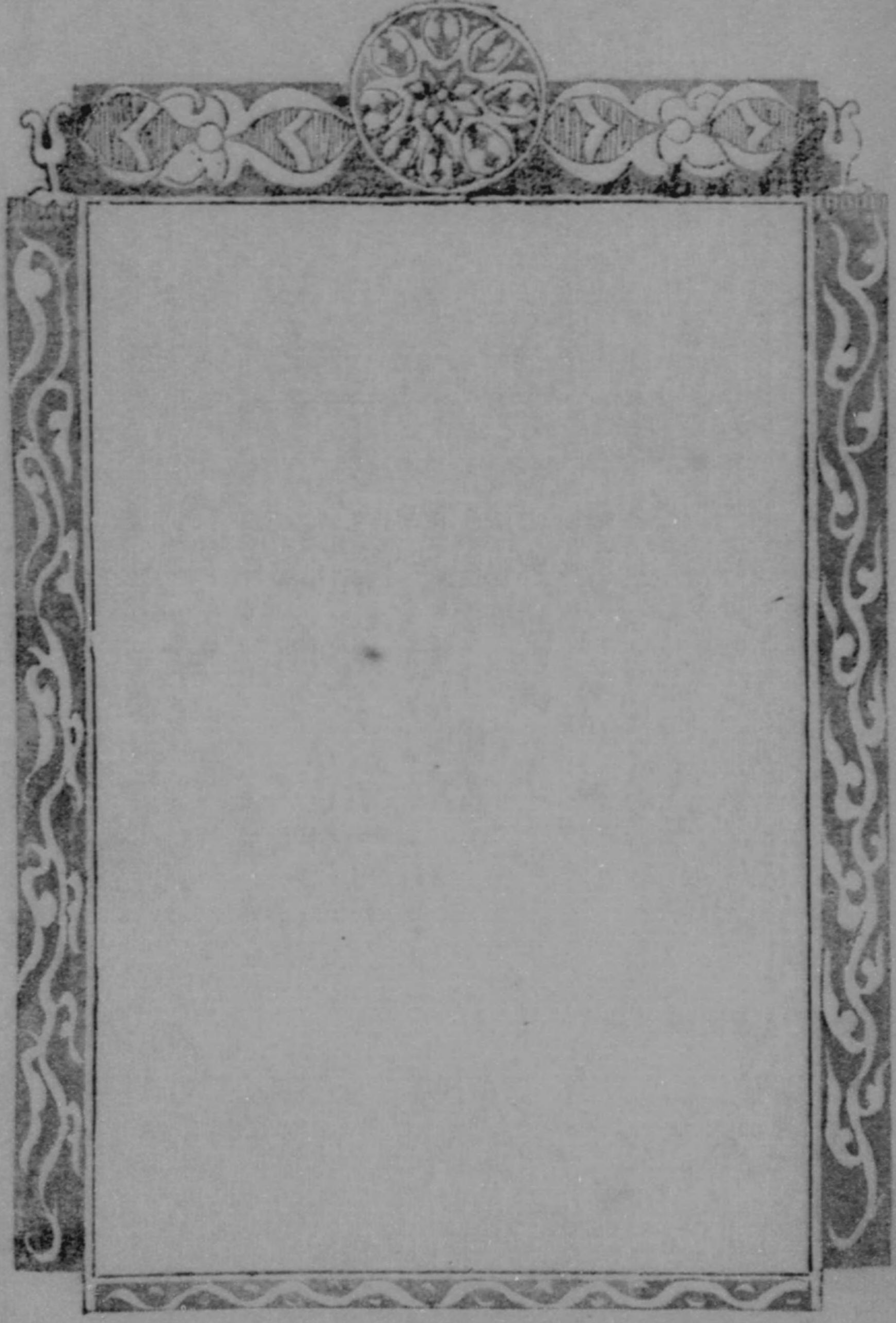
- (1) Pietro Aretno. 3Bde. Deutchen von J. Conrad. (ピイトロ・アレチノ、全三卷  
コンラットの獨譯)
- (2) Marquis de Sade. Justine et Juliette. 4Bde. (マルキ・ド・サド、ユスチヌとユリ  
エット、全四卷)
- 尚ほサドの左の二書輸入せり。
- (A) A. Eulenburg-Der marquis de Sade.

- (B) Eugen Dühren-Der marquis de S. de . . .
- (3) Die philosophische Therese. (哲學女テレーズ)
- (註) 第一卷(108 pag) 第二卷(92 page) 1748年、ボンボン、カザリソ版、1500馬克、作者はアルザンナリとカフ侯公へり。フランスの判官により 1822年2月25日破棄を命ぜらる。最近の再版には“Die philosophische Therese oder Beitrag zur Geschichte des Paters Dirrag und des Fräuleins Eradice”と改題したもの出たり。ハイソラヒコソラトの再版。1908年。私的出版。
- (4) Erotis hen Teufeleien, Holland Bibliothek No. 6 (色好みの悪魔オランダ図書館第六號)
- (5) R. Lothar-Erotische Konditionen Illust Bayros. (ロタール著、好色喜劇、パイロスの挿書入り)
- (6) Grevelon Deveria Bilder zu Gantiani. (グレベドン・デベリア著、ガミアニ、挿

## 挿入り)

- (7) Der club Halbjungfrau. (處女俱樂部)
- (8) Monsieur Neclas. (ニコラス様)
- (9) Casanova Memorien. 9Bde. (カザノヴァの思ひ出、全九卷)
- (10) L'Oeuvre du Divine Arelin (神人アレチノ作品集)
- (11) L'Oeuvre du Comte de Mirabane. (ミラボー伯爵作品集)
- (12) L'Oeuvre libertine des conteurs russes. (ロシアの法螺話家の淫猥な物語)
- (13) Niels eholie. (ニコルス・シオリ)
- (14) Gallant Confession of a Woman. (女達の懺悔)
- (15) The Story of Seven Maidens. (七人の美女の話)

以上の目録のみに止めた部分は、追つて稿を改め解説して見たいと思つてゐる。(昭和四年一月十三日朝)



昭和四年四月二十五日印  
 昭和四年五月一日發行

著者	梅原北明
發行者	東京市芝區本芝四ノ十六 中野正人
發行所	東京市芝區本芝四ノ十六 文藝市場社 （電話東京六四一〇四番 電報高輪四九〇五番）
印刷所	東京市外高田町三五七番地 ユニオン社印刷所
定價	金五圓



